保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-76

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話･PHSなど 022-774-5402（通話料：有料）

FAX 022-224-6801（通信料：有料）

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

●この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
●**保証期間はお買い上げの日から１年間です。**
詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき、無料修理となります。無償商品交換ではありません。

補修用性能部品の保有期間

●クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後６年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
●部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

33～36ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、本体の主電源スイッチを「OFF」にして使用を中止し、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）　－

愛情点検

長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。	ご使用中止	
●スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。 ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●運転中に異常な音がする。 ●運転中ときどき止まる。 ●本体や充電器が変形したり異常に熱い。 ●こげくさい"におい"がする。 ●その他の異常・故障がある。	→	故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社

リビング機器事業部

〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

DJ68-00633K REV(0.0)

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝クリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名

VC-RB6000

日本国内専用
Use only in Japan

●このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
●お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
●保証書を必ずお受け取りください。
●包装に使用しているダンボール･発泡スチロールなどは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。
●製品廃棄時など、不要になったバッテリーは取りはずして、お近くの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

もくじ

こんなクリーナーです

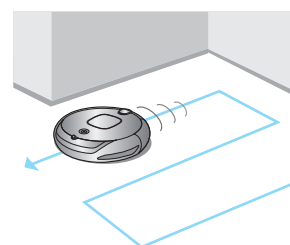
床を自動的にお掃除します

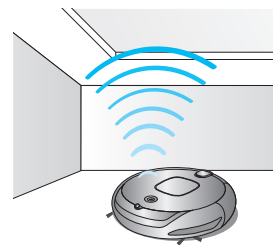
リモコンのボタン一つでお掃除スタート。後はクリーナーが自動で床をお掃除します。

いろいろなお掃除方法を選べます

基本のお掃除の「自動」モード、部分的なよごれに便利な「スポット」モード、よごれが少ないときに短時間でお掃除する「節電」モード、自分で操作してお掃除できる「手動」モードなど、場所に合わせてお掃除モードを選んでください。

こんな特長があります

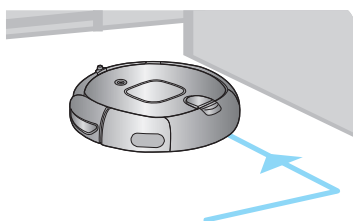
■自動運転

ムダなくお掃除

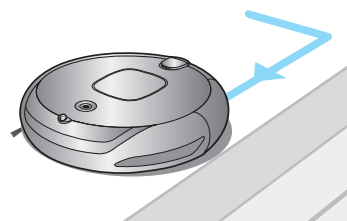
クリーナーは、床を直線的に移動し、ムダな動きが少ないお掃除をします。

カメラを利用

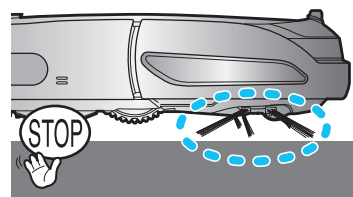
クリーナーは、上部に付いているカメラで天井や壁を認識し、お掃除する走行パターンに役立てています。
（カメラに写らないような暗い部屋でも、ほかのセンサーによって走行できます）

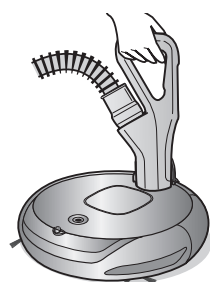
■安全に配慮

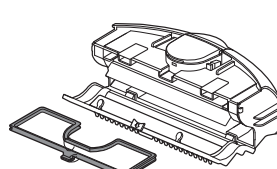
衝突防止・衝撃吸収

障害物センサーで障害物を検知して回避します。
※センサーが検知しにくい家具の脚、黒い壁や家具などの障害物には接触したり押したりする場合があります。
クリーナーが障害物に接触した場合も、バンパーが衝撃を吸収します。

落下防止

3 個の段差センサーが段差を検知して、クリーナーの落下を防ぎます。
※低い段差や床の色・材質によっては、センサーが検知しにくい場合があります。

安全装置

お掃除中にクリーナーを持ち上げると、事故防止のためクリーナーが停止します。

■ターボ機能を切り換えて、時間や周りを気にせず静かにお掃除

■ゴミ捨ても簡単＋水洗いで清潔

掃除機でゴミを取り出し

「簡単ゴミすて」から一般的な掃除機でゴミを吸い取ることができるので、ゴミに触れることなく捨てられます。

清潔に水洗い

ダストボックスとフィルターは丸ごと水洗いができ、清潔にお使いいただけます。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害と財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。「表示の説明」は、誤った取り扱いをしたときに生じる危害、損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

表示の説明

表示	説明
⚠危険	「死亡または重傷※1を負う可能性が高い内容」を示します。
⚠警告	「死亡または重傷※1を負う可能性がある内容」を示します。
⚠注意	「軽傷※2を負うことや、物的損害※3が発生する可能性がある内容」を示します。

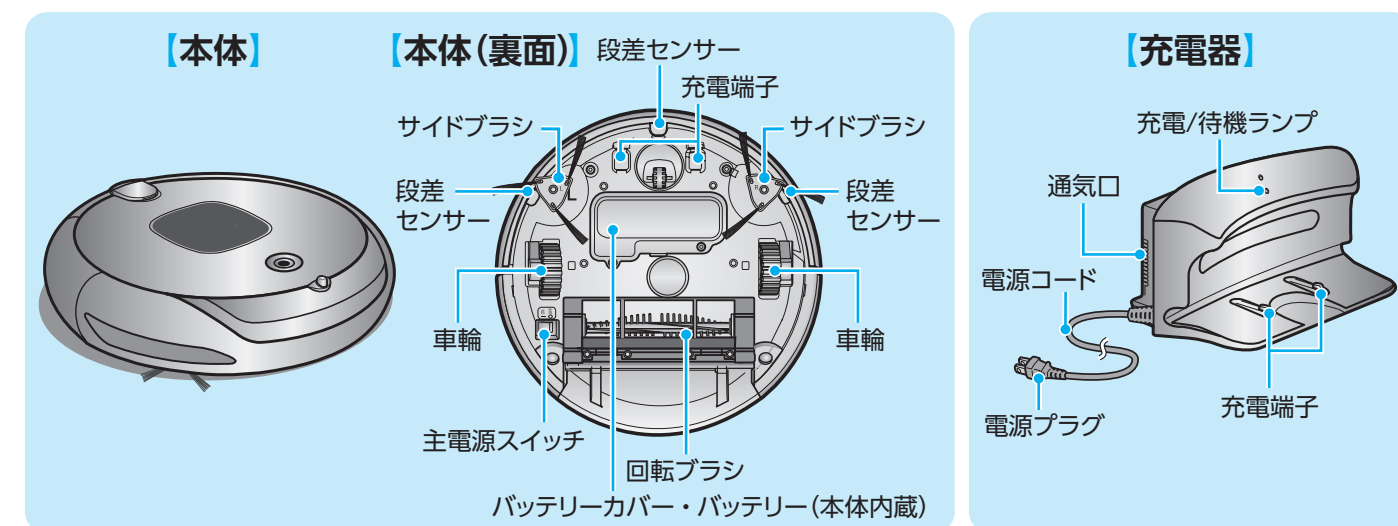
図記号	説明
	中の絵や近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。
	中の絵や近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。
△	中の絵や近くの文で、注意を促す内容を示します。

※1:重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
※2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
※3:物的損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■本体・付属品について

⚠警告

火災・感電・ショートを防ぐために

指示

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

発煙・発火・感電の原因。
すぐに本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、充電器の電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

- ●スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。
- ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ●運転中ときどき止まる。
- ●運転中に異常な音がする。
- ●本体や充電器が変形したり異常に熱い。
- ●こげくさい“におい”がする。

水ぬれ禁止

水まわりやトイレ、風呂場では絶対に使わない

・感電の原因。

本体（ダストボックス・フィルターを除く）・充電器・リモコン・バーチャルガード・モッププレート・回転ブラシは絶対に水洗いしない

・感電・故障の原因。

禁止

灯油、ガソリン、シンナー、可燃性ガス（スプレー）などの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物、じゅうたん洗浄剤などの泡状のものは吸わせない

・爆発・火災・感電・けがの原因。

（つづく）

安全上のご注意 （つづき） 必ずお守りください

■本体・付属品について

⚠警告

火災・感電・ショートを防ぐために

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

指 示

●電源は交流100V のコンセントを単独で使う
- 火災・感電の原因。
- 延長コードは使わないでください。

●電源プラグとコンセントのホコリなどはプラグを抜き、定期的に乾いた布でふき取る

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
- 感電・発熱による火災の原因。

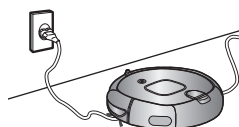
●お手入れのときは、必ず本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、充電器の電源プラグをコンセントから抜く
- 感電・けがの原因。

禁 止

●電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
- 感電・ショート・発火の原因。

●電源コードを傷付けない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、加工しない、重いものを載せない、はさみ込まない

●電源コードを回転ブラシ・車輪・サイドブラシに巻き込まない
- 電源コードの損傷による火災・感電の原因。

●電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
- 感電・けがの原因。

指 示

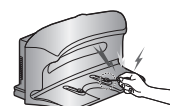
所定の充電時間を越えても満充電にならない場合は、充電をやめる
- 発熱・破裂・発火の原因。

分解禁止

本体・付属品の改造、および電源コード・バッテリーの交換は絶対にしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
- 火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

禁 止

本体の充電に専用の充電器（付属品）以外は使用しない
また、充電器は本体以外の機器に使用しない
- 電池の液漏れ・発熱・破裂の原因。

針金や金属片などを本体や充電器の内部に差し込んだり、充電端子に接続しない
- 発熱・発火・感電の原因。

けが・やけどを防ぐために

指 示

次の場所では使わない
屋外、工場、倉庫、通気口、屋根裏または地下、テーブル、棚、たんす、冷蔵庫などの上や、階段など幅の狭い場所や高い場所
暖房器具（ストーブなど）を使用している部屋など
- 本体の落下によるけが・故障・感電の原因。

子供やペットだけのときは、本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にする
- 感電・けがの原因。

充電完了直後は、本体裏面および充電器の充電端子には触れない
- やけどの原因。

段差センサーがよごれているときはお手入れをする
- 落下によるけが・故障の原因。

禁 止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない　また、遊ばせない
- 事故・感電・けがの原因。
自分で意思表示ができない人、または自分で操作できない人は使わないでください。

接触禁止

運転中、回転ブラシ・車輪・サイドブラシには触れない
- 手などのけが・やけどの原因。
- 特に小さなお子様にはご注意ください。

■本体・付属品について

⚠注意

火災・感電・ショートを防ぐために

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

指 示

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く
- プラグの刃の変形、電源コードの断線による感電・ショート・過熱による発火の原因。

●長期間使わないときは、本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、充電器の電源プラグをコンセントから抜く
- けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

指 示

ダストボックス・フィルターは正しく取り付ける　フィルターが破れたり、古くなったときは交換する
- モーターや制御回路の発煙・発火・故障の原因。

禁 止

吸込口をふさいで長時間運転しない
ビニール袋などが詰まったときはすぐに取り除く
- 過熱による本体の変形・発火の原因。

引火性のもの（ガソリン・ベンジン・シンナー）の近くで使わない
- 爆発・火災の原因。

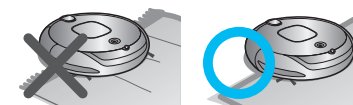
充電器の通気口をふさがない
- 火災・故障の原因。

火気に近づけない
- 本体や電源コードなどの変形によるショート・発火の原因。

充電器に液体を付着させない
- 感電・ショート・過熱による変形・発火・故障の原因。

けが・破損を防ぐために

指 示

じゅうたん・マットなどの長い飾り房は、じゅうたん・マットなどの下に折り込む
- 車輪や回転ブラシに巻き込まれ、じゅうたんの破れおよび本体の破損の原因。

フィルターは東芝純正品を使う
- 指定以外のフィルターを使うとモーターや制御回路の発煙・発火・故障の原因。

本体を運ぶときは運転を停止し、両手でしっかり持つ
- 本体の変形・けがの原因。

テーブルなどの上に物を置かない
- 本体が衝突した衝撃で物が落ちて、破損の原因。

ワックスなどを塗布した床は十分に乾燥させてから使う
- 床面が傷付く原因。

壊れやすいものや、傷付きやすい家具・敷居など、本体を進入させたくない場所の前にバーチャルガードを設置する
- 障害物センサーが障害物を認識しない場合、破損の原因。
- 杉・ひのき材などのやわらかい敷居・木床が傷付く原因。

禁 止

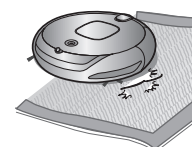
運転中、本体をのぞき込まない
- 転倒・けがの原因。

モッププレート単体で取り付けない
- 床面が傷付く原因。

本体に乗ったり、重いものを載せたりしない
- 本体の破損・けがの原因。
- 特に小さなお子様にはご注意ください。

毛足の長いじゅうたんなどの上では使わない
- 毛足の長さが 20mm 以上の場合、じゅうたんを巻き込んで故障の原因。

お掃除の前に

（つづく）

安全上のご注意 （つづき）

■バッテリー（ニッケル水素バッテリー）について

※バッテリーの交換はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。
（製品廃棄時以外はバッテリーカバーを開けないでください）

⚠危険

火災・破損を防ぐために

分解禁止

バッテリーを分解・改造しない
・バッテリーの液漏れ・発熱・破裂・発火の原因。
バッテリーには危険防止のための安全機構が組み込まれています。これらを損なうと、過電流で充電されたり、充電制御ができなかったり、過電流で放電することがあります。

禁止

端子同士を針金などの金属で接続しない
・バッテリーの液漏れ・発熱・破裂・発火の原因。

バッテリーは RB1-P 以外使用しない
・バッテリーの液漏れ・発熱・破裂の原因。

火の中に投入したり、加熱したりしない
・バッテリーの液漏れ・破裂・発火の原因。

指示

充電には専用の充電器（RB1-C）を使用する
・バッテリーの液漏れ・発熱・破損・発火の原因。

けがを防ぐために

指示

内部から漏れた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受ける
・目に障害が起きる原因。

⚠警告

火災・破損を防ぐために

禁止

外装チューブをはがしたり、傷付けたりしない
・ショート・発熱・破裂・発火の原因。

バッテリーが液漏れしたり、変色、変形、その他今までと異なることに気付いたときは使用しない
・発熱・破裂・発火の原因。
床に付着すると損害を与えることがあります。

禁止

非充電式バッテリーを充電しない
・火災・感電・ショートの原因。

水ぬれ禁止

水や海水などにつけない、ぬらさない
・発火・発熱の原因。

けがを防ぐために

指示

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流す
・皮膚がかぶれる原因。

⚠注意

火災・破損を防ぐために

禁止

バッテリーを単独で充電しない
・バッテリーの液漏れ・発熱・破損の原因。

お願い

このクリーナーは家庭用です

●**業務用に使わない、掃除以外に使わない**

異臭の発生・本体の破損や故障を防ぐために

●**次のものは吸わせない**
- 水などの液体、吸湿剤（湿気取り）など、水分を含んだゴミ。
- ペットなどの排泄物が付いたもの。
- ガラス、針、ピン、刃物など鋭利なもの。
- 多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目詰まりするもの。
- 食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの。

●**バンパーを無理に押し付けない**
誤動作することがあります。

●**バンパーや車輪を変形させたり、センサーやカメラなどにシールやテープを貼らない**
誤作動することがあります。

●**表面がかたく、凸凹したコンクリート床などはお掃除させない**
回転ブラシ・回転ブラシカバー・車輪・サイドブラシが摩耗します。

誤って吸い込まれることを防ぐために

●**次のものは床に置かない**
- テーブルクロス・カーテンの垂れ下がり。
- 電気機器などの電源コード。
- 小物や高価なもの（硬貨・指輪・宝石など）。
- ひも・ベルト・ビニール袋など。
- 新聞紙などの薄い紙。

床・たたみ・じゅうたん・壁・家具などへの傷付きを防ぐために

●**本体を引きずらない**
本体を持ち上げて移動させてください。

●**砂ゴミの上で使った後、回転ブラシ・回転ブラシカバー・車輪・サイドブラシに付いた砂ゴミは取り除く**

●**車輪が傷付いているときは使わない**
お掃除の前に点検してください。

●**回転ブラシ・回転ブラシカバーは必ず取り付ける**

セキュリティシステムの誤作動を防ぐために

●**不在時など、ご家庭のセキュリティシステムが稼働しているときは使わない**
「タイマー」・「デイリー」など予約機能のお掃除開始時刻を、ご家庭のセキュリティシステムが稼働している時間帯に設定しないでください。

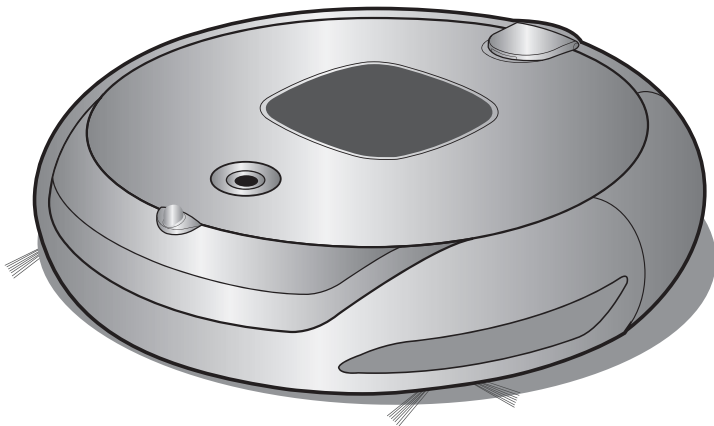
■リサイクルにご協力ください

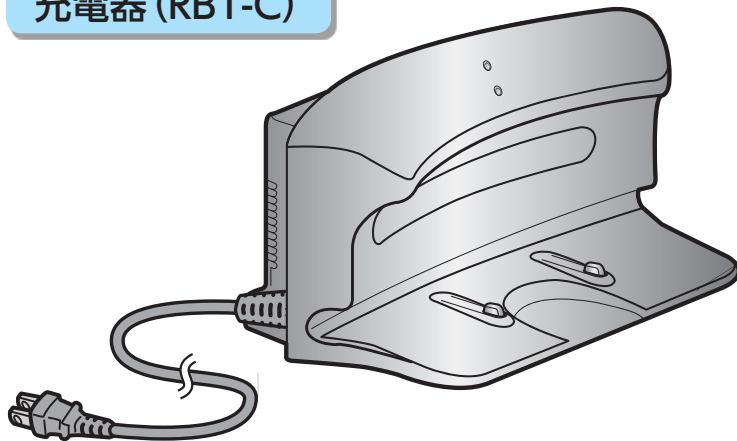
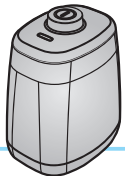
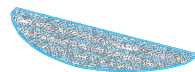
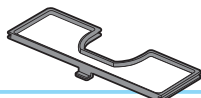
本体内蔵のバッテリーは貴重な資源です
製品を廃棄するなどで不要になったバッテリーは、廃棄しないでお近くの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
※バッテリーのはずしかたは 39 ページをご覧ください。

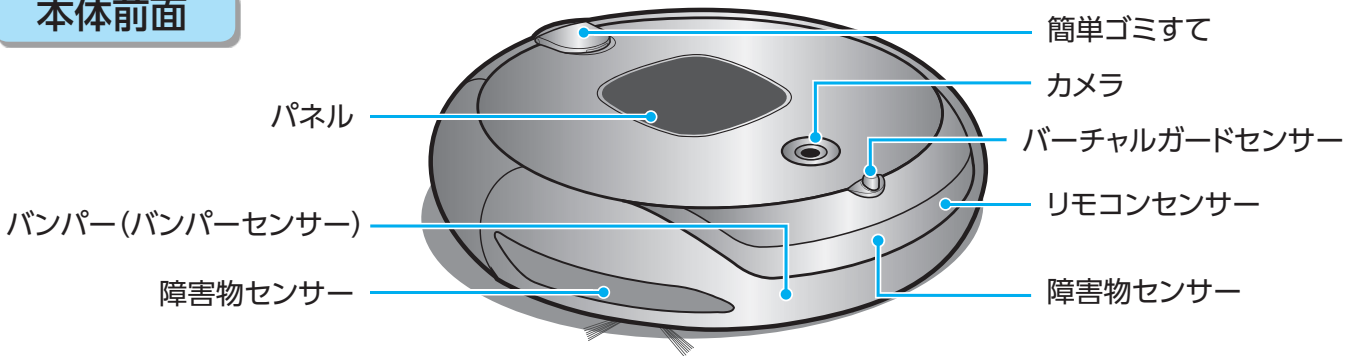
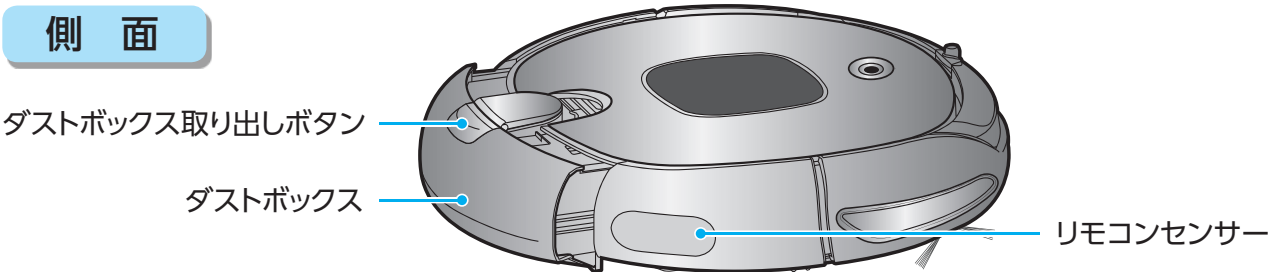
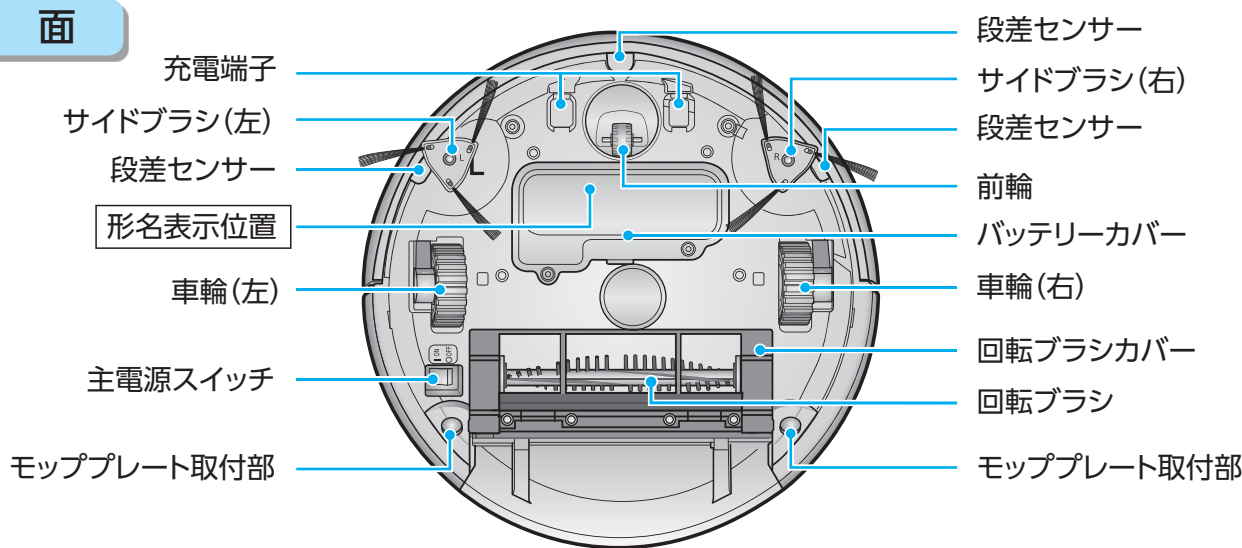
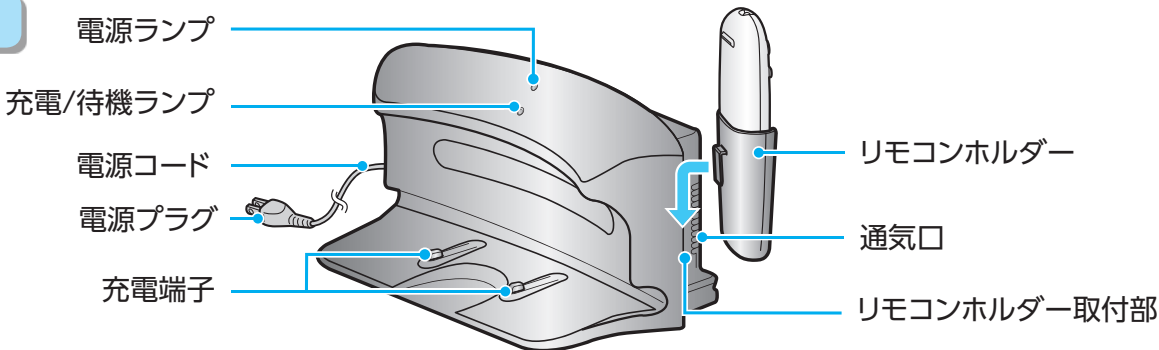
各部のなまえ

セット内容

セット内容に不足がないか確認してください。

本　体

リモコン

充電器（RB1-C）

付属品

バーチャルガード（1個）	モッププレート（1個）	モップ（2枚）	リモコンホルダー（1個）

お手入れブラシ（1個）	フィルター（1個）※本体装着品の交換用	リモコン用乾電池（単4形）2個 バーチャルガード用乾電池（単1形）2個

●付属品はお買い求めいただけます。お買い上げの販売店や家電量販店などにご相談ください。

本体・充電器

お掃除の前に

（つづく）

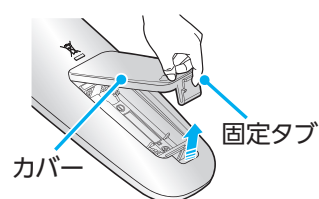
各部のなまえ （つづき）

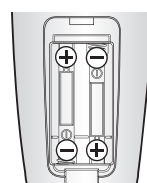
リモコン

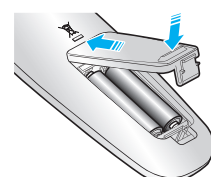
■電池を取り付けてお使いください

使用電池：単４形乾電池２本

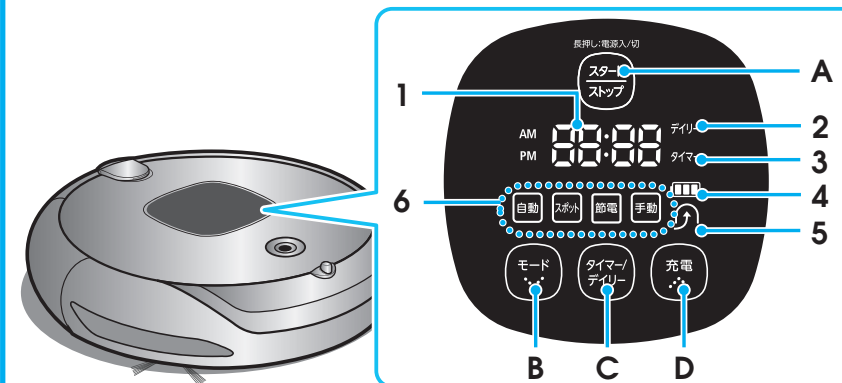
1 カバーをはずす

固定タブを押しながらカバーを持ち上げます。

2 電池を入れる

乾電池の＋極、－極の方向にご注意ください。

3 カバーを取り付ける

カバーの先端を溝にはめ込んでから、固定タブを押し込みます。

パネル・バーチャルガード

パネル

※説明のため、すべて表示しています。

【操作ボタン】

A. 「スタート / ストップ」ボタン
長押し：本体電源の入 / 切
タッチ：各操作の開始 / 停止

B. 「モード」ボタン

C. 「タイマー / デイリー」ボタン

D. 「充電」ボタン

【表示部】

1. デジタル表示部
時間・本体の状態・エラーコードなどを数字・文字・絵柄で表示します。

2. デイリーアイコン
デイリーが設定されている場合に点灯します。

3. タイマーアイコン
タイマーが設定されている場合に点灯します。

4. バッテリーレベルアイコン
充電中：充電の進行状況を表示します。
使用中：バッテリーの残量を表示します。

5. 充電アイコン
本体が充電器に戻るときに点灯します。

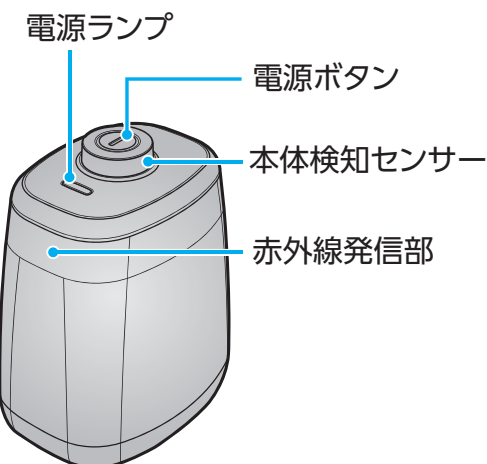
6. お掃除モードアイコン

自動：「自動」を選択しているときに点灯します。

スポット：「スポット」を選択しているときに点灯します。

節電：「節電」を選択しているときに点灯します。

手動：「手動」を選択しているときに点灯します。

バーチャルガード

■電池を取り付けてお使いください

使用電池：１個につき単１形アルカリ乾電池２本

1 底面を上にして、カバーをはずす

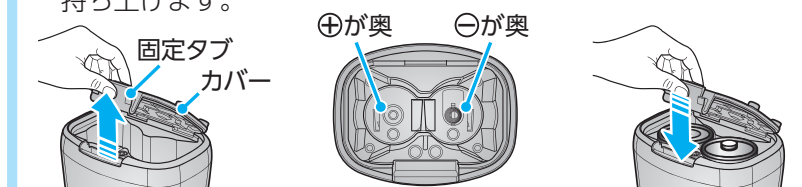
固定タブを押しながらカバーを持ち上げます。

2 電池を入れる

乾電池の＋極、－極の方向にご注意ください。

3 カバーを取り付ける

カバーの先端を溝にはめ込んでから、固定タブを押し込みます。

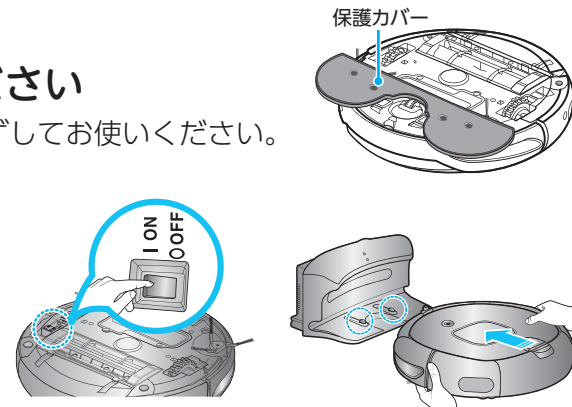
お掃除の前に

お掃除のはじめかた

1 充電しましょう

■製品を取り出し、内容を確認してください

本体の裏面には保護カバーが付いています。取りはずしてお使いください。

■充電器を設置し、本体を充電します (→13 ページ)

工場出荷時は、バッテリーが充電されていません。
充電してからお使いください。
リモコンに乾電池を入れてください。

2 部屋の準備をしましょう

■床を片付けてください (→14 ページ)

本体の回転ブラシやサイドブラシなどにからまりやすい電源コード類、吸い込まれては困る硬貨などの小物類はあらかじめ片付けてください。

■バーチャルガードを活用しましょう (→25 ページ)

傷付きやすい家具や置物がある場所やペットのいる部屋など、本体を近づけたくない場所にはバーチャルガードを設置してください。

3 お掃除開始！

■お掃除モードを選ぶとお掃除を開始します (→16 ～ 19 ページ)

リモコンの使いたいお掃除モードのボタンを押してください。
通常は「自動」モードで、よごれが少ないときは「節電」モードをおすすめします。
場所に合わせてお掃除モードを選んでください。

4 お掃除後は充電器に接続してください

■通常は充電器に接続しておいてください

バッテリーの放電を防ぎ、次回のお掃除をすぐに始められるように、お掃除をしていないときは本体を充電器に接続しておいてください。
(「自動」、「節電」モードはお掃除が終わると自動で充電器に戻ります)

5 ゴミ捨て、お手入れはこまめに行ってください

■吸込力を持続させるために (→28 ～ 32 ページ)

ダストボックスからゴミがあふれないように注意してください。また、回転ブラシや車輪、サイドブラシなどの回転する部分にはゴミがからみ付きやすく、移動やお掃除の妨げとなる場合があります。
こまめにお手入れをしてください。

準備する

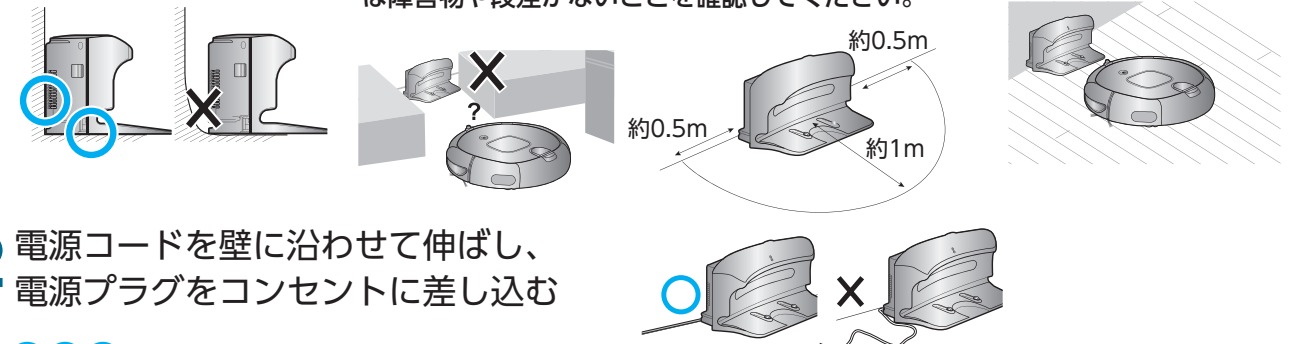
充電する

■充電器を設置する

1 充電器を次の場所に置く（よくお掃除する部屋に置くと便利です）

- 段差のない平らな床面
- 壁に沿わせて設置
- できるだけ広く、障害物の少ない場所

※特に充電器の左右約 0.5m、前方約 1 mの範囲には障害物や段差がないことを確認してください。

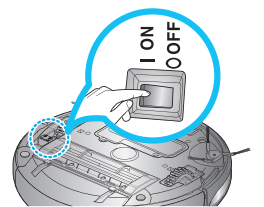
- 木製の床の場合は、充電器を木目と同じ方向に置く

2 電源コードを壁に沿わせて伸ばし、電源プラグをコンセントに差し込む

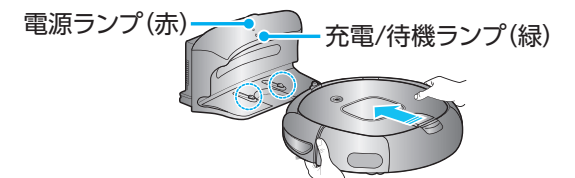
お願い

- 通常は、充電器の電源プラグをコンセントに差し込んだままでお使いください。
  充電器に電力が供給されていないと、本体が充電器を見つけられないため、自動で充電器に戻ることができません。(本体が充電器から離れている場合、お掃除していないときもバッテリーが自然に放電します)
- 充電器はフローリングや毛足の短いじゅうたんに設置することをおすすめします。
  毛足の長いじゅうたんに設置すると、本体が充電器から離れられないことがあります。
  また、畳の部屋に充電器を設置する場合は、薄手で滑りにくいマットなどの上に設置することをおすすめします。
- 同じ部屋で本機や他のロボットクリーナーを同時に使用しないでください。
  衝突したり、センサーが誤動作する場合があります。

■本体を充電する

1 パネルに手が触れないようにして、本体裏面の主電源スイッチを「ON」にする

※「OFF」の状態では充電できません。

2 本体を充電器に接続する

- 充電器の充電端子と本体の充電端子が合うように接続します。
  正しく接続されるとアラームが鳴り、充電 / 待機ランプが緑色に点灯します。(消音設定時はアラームが鳴りません)

3 本体の充電状態を確認する

- 充電が始まるとデジタル表示部が左右に点滅し、バッテリーレベルアイコンが点灯します。
- 充電が完了するとデジタル表示部に「FULL」が表示され、バッテリーレベルアイコンが三つ点灯します。

充電中

充電完了

お願い

- 充電完了直後は本体・充電器の充電端子に触れないでください。(やけどの原因)

お知らせ

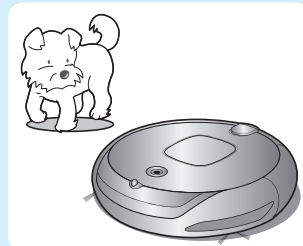
- 初めて使うときは、バッテリーが完全に充電されるまで約 120 分かかります。
  完全に充電された状態から、最長約 60 分間お掃除できます。

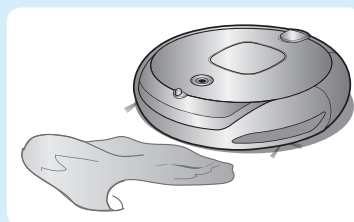
準備する （つづき）

部屋を整える

思わぬトラブルを防ぎ、部屋をスムーズにお掃除するために、お掃除前に部屋を整えてください。

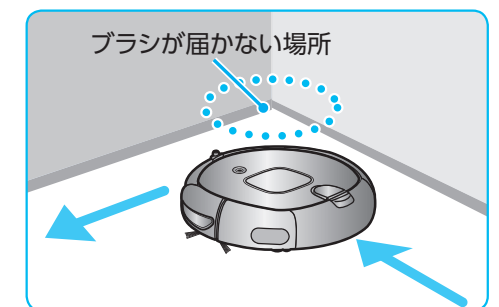
■トラブルを防ぐために

- **次のようなものは、あらかじめ移動させるか、付属のバーチャルガードを使い本体が進入しないようにしてください**
  - 障子やふすまなど、傷付きやすい建具
  - 傷付きやすい家具や置物、屏風など
  - 本体が接触した衝撃で倒れたり、壊れたりしやすい花瓶やガラス製品、鏡など
  - キャスターが付いたテレビ台など、床から浮いている家具や器具
  - 本体が乗り上げて動けなくなる段差や、杉・ひのきなどやわらかく傷付きやすい敷居・木床
- **次のものが床面にある場合は、あらかじめ片付けてください**
  - 吸い込まれやすい小物や高価なもの（硬貨・アクセサリーなど）
  - じゅうたんやマットの飾り房（フリンジ）
    ※飾り房（フリンジ）はじゅうたん・マットの下に折り込んでください。
  - ペットの排泄物や液体類など、吸い込むと故障の原因となるもの
- **犬や猫などのペットはケージ・サークルに入れるか別の部屋に移してください**

■スムーズなお掃除のために

- **本体の移動を妨げるものは、あらかじめ片付けてください**
  - 脚のある家具（テーブルなど）
    ※軽い家具（いすなど）は落ちないようにテーブルに載せてください。
  - 薄くて滑りやすい敷物類（台所マット・じゅうたん）
  - 座布団・ふとん
  - 雑誌・本や扇風機・ホットカーペットのコントローラー部など、本体が乗り上げてしまうもの
    ※片付けが困難な場合は乗り上げないように注意していただくか、バーチャルガードを設置してください。
- **回転ブラシ・車輪・サイドブラシにからまりやすいものは、あらかじめ片付けてください**
  - テーブルクロス・カーテンの床に垂れ下がった部分
  - 電気機器などの電源コード
  - ひも・ベルト・ビニール袋など
  - タオルなどの薄い布や新聞紙などの薄い紙

本体の動作についてご確認ください

■移動とお掃除

- **本体は車輪で走行しながら、サイドブラシと回転ブラシでゴミを集めて吸い込みます**

次のような場所では使えません（敷物・床面の傷付き、本体故障の原因）
- 毛足の長い（約 20mm 以上）じゅうたん・ふとん・毛布など
- ワックスが完全に乾いていないフローリングの床
- 水まわりやトイレ、風呂場など、ぬれた場所
- 暖房器具（ストーブ）など高温になるものの周辺

ブラシが届かない場所

次のような場所は、お掃除ができません
- 本体が入れない奥まった場所や狭い場所
- 部屋の隅など、本体のブラシが届かない場所
- 充電器の周囲（充電器との衝突を防ぐため）

段差を乗り越えられない場合があります
- 約 15mm 以上の段差は乗り越えられません。形状によっては約 15mm 以下の段差でも乗り越えられない場合があります。

※状況によっては、じゅうたんなどの敷物の段差も乗り越えられない場合があります。

段差や障害物によって 5 分以上動けない状態が続くと、安全のため運転を停止します

お掃除方法の特性上、次のような場合があります
- 条件によってはゴミが残る場合があります。
- 小さくてかたいもの（小石や鳥の餌など）を、走行中に飛ばすおそれがあります。

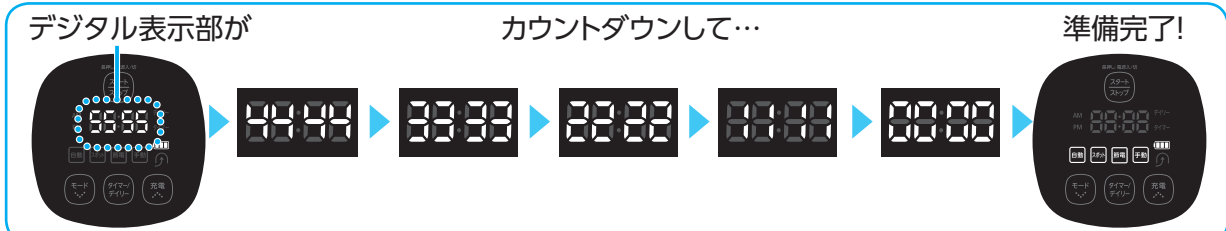
■本体の電源を操作する

- **パネルに手が触れないようにして、本体裏面の主電源スイッチを「ON」にする**
- **電源を入れる**

リモコンの「電源」ボタンを押すか、本体の「スタート / ストップ」ボタンを約 2 秒間長押しします。
→電源を入れるとデジタル表示部がカウントダウンを始めます。

デジタル表示部が

カウントダウンして…

準備完了!

- **電源を切る**

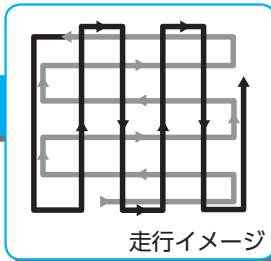
リモコンの「電源」ボタンを押すか、本体の「スタート / ストップ」ボタンを約 3 秒間長押しします。
→一定時間後、表示部がすべて消灯します。ただし、充電器に接続されているときはバッテリーレベルアイコンは点灯し続けます。

※オートオフ機能

本体が充電器から離れた状態で、運転・操作せずに約 5 分間が経過すると、自動的に本体のパネル表示部が消灯し電源が切れます。お使いになるときは、リモコンの「電源」ボタンを押すか、本体の「スタート / ストップ」ボタンを約 3 秒間長押ししてください。

お掃除する

自動

自動的にお部屋を走行する基本のお掃除モードです。
方向を変えて、計 2 回の走行を繰り返します。
※家具の配置が複雑な部屋や障害物が多いときは、方向の変化がわかりにくい場合があります。

1 本体の電源を確認する

●表示部のお掃除モードアイコンが点灯しているか確認してください。

表示部が点灯していないときは、電源を入れてください(➞15ページ)
➞電源を入れてお掃除モードアイコンが点灯すると操作ができます。

2「自動」を選ぶ

リモコン	本体

お掃除開始

<例>ターボオンの場合

お掃除を中止するときは…
➞リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押してください。
※再び「スタート / ストップ」ボタンを押すと、中止前の続きではなく、その時点から新たにお掃除を始めます。

お掃除終了

●表示部に「End」が表示され、本体は自動で充電器に戻り、充電をします。

お知らせ
●本体が充電器に接続されている状態からお掃除を開始すると、充電器の位置を記憶しているため充電器に戻るときの移動時間が短くなります。
●タイマー予約がされている場合は、タイマー予約を解除してから操作してください。(➞ 23 ページ)

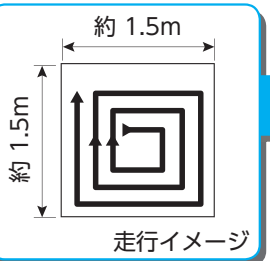
●「ターボ」「かべぎわ」の設定ができます (➞20 ページ)
手順 **2** で「自動」を選ぶ前に設定してください。
※「ターボ」「かべぎわ」の設定は、電源が切れるとターボオン、かべぎわオンの状態に戻ります。

ターボ

かべぎわ

●お掃除中にバッテリーレベルアイコンが点滅すると
お掃除を中断して自動で充電器に戻り、充電します。
充電が完了すると、中断したところからお掃除を自動再開します。(自動再開は 1 回のみ)
※自動充電中に本体を動かしたりボタンを押したりすると、お掃除は再開されません。

スポット

開始位置を中心に縦横約 1.5 mの範囲をお掃除します。
特にゴミが多い場所をお掃除するのに便利です。
※障害物や壁があると、右図の走行イメージとは逆方向に動く場合があります。

1 本体の電源を確認する

●表示部のお掃除モードアイコンが点灯しているか確認してください。

表示部が点灯していないときは、電源を入れてください(➞15ページ)
➞電源を入れてお掃除モードアイコンが点灯すると操作ができます。

2 (スタート/ストップ) を押して本体を充電器からはずす

●本体が少し後退して充電器からはずれます。
●本体が充電器に接続されていると、「スポット」は選べません。

3 お掃除したい場所に本体を移動する

●直接持って運ぶ、またはリモコンの方向ボタンで操作して移動させてください。

4「スポット」を選ぶ

リモコン	本体

お掃除開始

<例>ターボオンの場合

お掃除を中止するときは…
➞リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押してください。

お掃除終了

●表示部に「End」が表示され、動作が停止します。

5 充電する

リモコン	本体

お知らせ
●本体と充電器が離れた場所にあると、充電器に戻れないことがあります。(➞ 27 ページ)
●タイマー予約がされている場合は、タイマー予約を解除してから操作してください。(➞ 23 ページ)

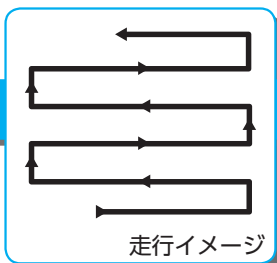
●「ターボ」「かべぎわ」の設定ができます (➞20 ページ)
手順 **4** で「スポット」を選ぶ前に設定してください。
※「ターボ」「かべぎわ」の設定は、電源が切れるとターボオン、かべぎわオンの状態に戻ります。

ターボ

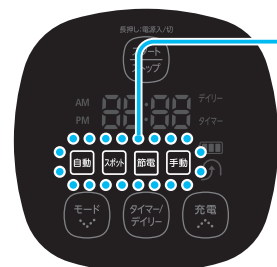
かべぎわ

お掃除する　（つづき）

節電

部屋のよごれが少ないときに使います。
1 方向から走行して、短時間でお掃除します。
※家具の配置が複雑な部屋や障害物が多いときは、方向の変化がわかりにくい場合があります。

1 本体の電源を確認する

●表示部のお掃除モードアイコンが点灯しているか確認してください。

表示部が点灯していないときは､電源を入れてください(→15ページ)
→電源を入れてお掃除モードアイコンが点灯すると操作ができます。

2「節電」を選ぶ

<例>ターボオンの場合

お掃除開始

お掃除を中止するときは…
→リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押してください。

お掃除終了

●表示部に「End」が表示され、本体は自動で充電器に戻り、充電をします。

お知らせ
●本体が充電器に接続されている状態からお掃除を開始すると、充電器の位置を記憶しているため充電器に戻るときの移動時間が短くなります。
●タイマー予約がされている場合は、タイマー予約を解除してから操作してください。(→ 23 ページ)

●「ターボ」「かべぎわ」の設定ができます（→ 20 ページ）
手順 **2** で「節電」を選ぶ前に設定してください。
※「ターボ」「かべぎわ」の設定は、電源が切れるとターボオン、かべぎわオンの状態に戻ります。

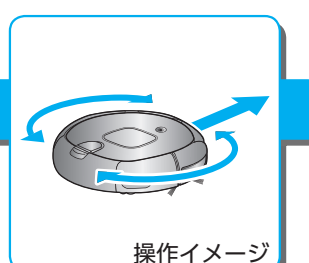
ターボ

かべぎわ

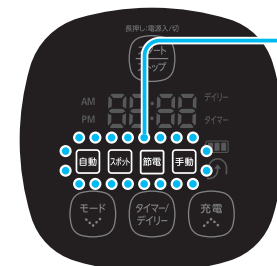
●お掃除中にバッテリーレベルアイコンが点滅すると
お掃除を中断して自動で充電器に戻り、充電します。
充電が完了すると、中断したところからお掃除を自動再開します。(自動再開は 1 回のみ)
※自動充電中に本体を動かしたりボタンを押したりすると、お掃除は再開されません。

手動

操作イメージ

リモコンを使い、本体を操作してお掃除します。

1 本体の電源を確認する

●表示部のお掃除モードアイコンが点灯しているか確認してください。

表示部が点灯していないときは､電源を入れてください(→15ページ)
→電源を入れてお掃除モードアイコンが点灯すると操作ができます。

2 (スタート/ストップ) を押して本体を充電器からはずす

●本体が少し後退して充電器からはずれます。
●本体が充電器に接続されていると、「手動」は選べません。

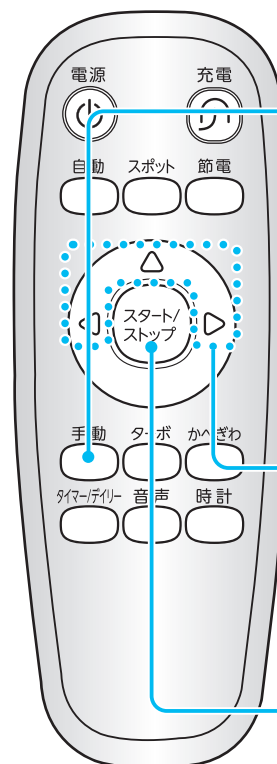
3「手動」を選ぶ

<例>ターボオンの場合

その場で本体が動き出します

4 (◁△▷) ボタンで操作する

●ボタンを押している間走行します。

△…前進します
◁…左回転します
▷…右回転します　※後進はできません。

5 お掃除を終える

●リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押します。

6 充電する

リモコン	本体
充電	充電

お知らせ
●本体と充電器が離れた場所にあると、充電器に戻れないことがあります。(→ 27 ページ)
●タイマー予約がされている場合は、タイマー予約を解除してから操作してください。(→ 23 ページ)

●「ターボ」「かべぎわ」の設定ができます（→ 20 ページ）
手順 **3** で「手動」を選ぶ前に設定してください。
※「ターボ」「かべぎわ」の設定は、電源が切れるとターボオン、かべぎわオンの状態に戻ります。

ターボ

かべぎわ

お掃除のしかた

付加機能

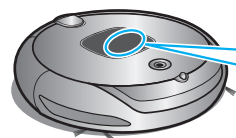
ターボ・かべぎわ

4 つのお掃除モード（自動・スポット・節電・手動）と合わせてより便利にお掃除できます。

●ターボ…床をしっかりお掃除したいときに

リモコンの「ターボ」ボタンを押すたびに、**ターボ↔ターボ解除** が切り換わります。

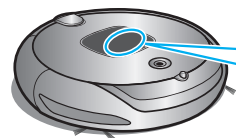
ターボ　（On turbo）：回転ブラシが最大速度で回転してお掃除します。

ターボ解除（OFF turbo）：回転ブラシが通常の速度で回転します。

ターボ↔ターボ解除を切り換えるたびに、表示部に On turbo↔OFF turbo が表示されます。

●かべぎわ…壁・家具と床の際までしっかりお掃除したいときに

リモコンの「かべぎわ」ボタンを押すたびに、**かべぎわ↔かべぎわ解除** が切り換わります。

かべぎわ　（On Edge）：壁などの障害物に接触しながら、障害物の際もお掃除します。

かべぎわ解除（OFF Edge）：壁などの障害物を回避しながらお掃除します。

かべぎわ↔かべぎわ解除を切り換えるたびに、表示部に On Edge↔OFF Edge が表示されます。

※お掃除中は、表示部に選択したお掃除方法が表示されます。（turbo（ターボ）またはEdge（エッジ））
「ターボ」「かべぎわ」を同時に選択した場合は、（turbo→Edge）と交互に表示されます。

●「ターボ」「かべぎわ」の設定

お掃除モード（16 ～ 19 ページ）を選ぶ前に、リモコンの「ターボ」ボタン、または「かべぎわ」ボタンを押して設定してください。

例：「ターボ」を使って「自動」モードのお掃除をする場合
　「ターボ」ボタンを押してターボを設定→「自動」ボタンを押してお掃除開始

お知らせ

- 「ターボ」「かべぎわ」の設定は、電源が切れるとターボオン、かべぎわオンの状態に戻ります。
- かべぎわ解除（OFF Edge）が設定されていても、薄い色・暗い色の壁・障子・ふすまや、家具の細い脚などに接触することがあります。

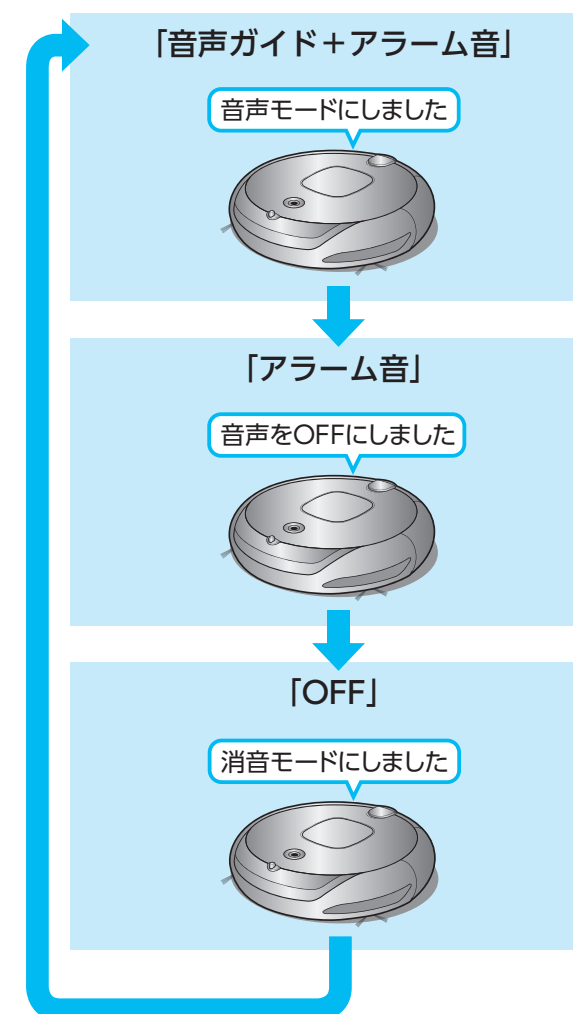
お願い

- 「かべぎわ」を設定してお掃除するときは、傷付きやすいものや壊れやすいものは片付けるか、バーチャルガードを設置してください。（→25 ページ）

音声ガイド・アラーム音

操作時などに本体から流れる音声ガイド・アラーム音を「音声ガイド＋アラーム音」「アラーム音のみ」「OFF」から設定できます。
※電源が切れると「音声ガイド＋アラーム音」の設定に戻ります。

音声（ボタン）ボタンを押すたびに切り換わります

お掃除のしかた

お掃除を予約する

■ご希望の時間にお掃除を開始することができます

現在時刻の設定

お掃除の開始時刻を予約するには、あらかじめ現在の時刻を設定する必要があります。

表示部の例
設定時刻：午前 7：30

1 時計 を押す
●表示部の「時」部分が点滅します。

2 を押して「時」を設定する

3 時計 を押す
●「時」が決定され、「分」部分が点滅します。

4 を押して「分」を設定する

5 時計 を押す
●時刻が設定されます。

設定を途中でやめるときは
→リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押してください。

お知らせ
●すでに「タイマー」が設定されている場合、時刻は変更できません。

タイマー（設定した時刻にお掃除します）

設定した時刻に「自動」でお掃除をします。（1 回）
※本体が充電器に接続されていないと設定できません。
　また、設定後電源を切ったり、本体を充電器からはずしたりするとタイマー予約が解除されます。

表示部の例
現在時刻：午前 7：00
開始時刻：午前 9：30

●お掃除開始時刻の設定

1 タイマー/デイリー ボタンを押す
●表示部に現在時刻が点灯します。
時刻が正しくないときは、現在時刻を設定してください。（→22 ページ）

2 タイマー/デイリー ボタンを押す
●表示部にタイマーアイコンが点灯し、「時」部分が点滅します。

3 を押して、「時」を設定する

4 タイマー/デイリー ボタンを押す
●「時」が決定され、「分」部分が点滅します。

5 を押して、「分」を設定する

6 タイマー/デイリー ボタンを押す
●タイマー予約が完了します。

設定を途中でやめるときは
→リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押してください。

お知らせ
●すでに「デイリー」が設定されている場合、「タイマー」の設定はできますが、「デイリー」が優先されることがあります。

●タイマー予約の解除

リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押す
●表示部のタイマーを設定した時刻と、タイマーアイコンが消灯します。

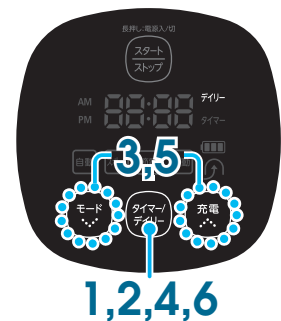
時刻とタイマーアイコンが消灯します

お掃除のしかた

お掃除を予約する　（つづき）

デイリー（毎日決まった時刻にお掃除します）

設定した時刻に「自動」でお掃除をします。（毎日）
※本体が充電器に接続されていないと設定できません。
　また、充電器に接続されていないと設定した時刻になってもお掃除を開始しません。

表示部の例
初めてデイリーを設定
開始時刻：午前 9：30

● お掃除開始時刻の設定

1 タイマー/デイリー ボタンを 3秒間押し続ける

●表示部に時刻が点灯します。

2 タイマー/デイリー ボタンを押す

●表示部にデイリーアイコンが点灯し、「時」部分が点滅します。

3 を押して、「時」を設定する

4 タイマー/デイリー ボタンを押す

●「時」が決定され、「分」部分が点滅します。

5 を押して、「分」を設定する

6 タイマー/デイリー ボタンを押す

●デイリー予約が完了します。

設定を途中でやめるときは
→リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押してください。

お知らせ
●すでに「タイマー」が設定されている場合、「デイリー」の設定はできません。

● デイリー予約の解除

1 タイマー/デイリー ボタンを 3秒間押し続ける

●表示部にデイリーを設定した時刻が点灯します。

時刻とデイリーアイコンが消灯します

2 リモコンか本体の「スタート / ストップ」ボタンを押す

●表示部のデイリーを設定した時刻と、デイリーアイコンが消灯します。

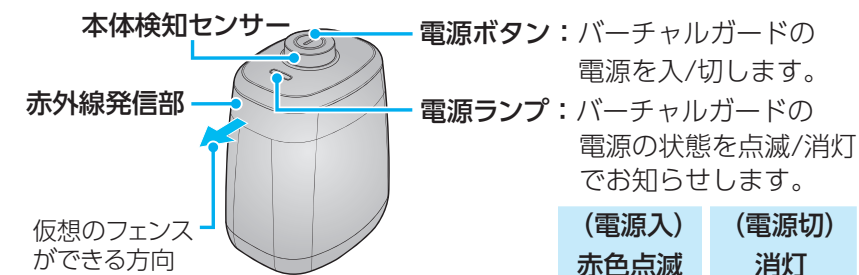
バーチャルガードを使う

バーチャルガードとは

赤外線信号による仮想のフェンスを作り、本体の動きをコントロールします。
壊れやすいものがある場所や、傷付きやすい家具など本体を進入させたくない場所に設置します。
※階段のきわなど落下しやすい場所には設置しないでください。

バーチャルガード

電源ボタン：バーチャルガードの電源を入/切します。
電源ランプ：バーチャルガードの電源の状態を点滅/消灯でお知らせします。

（電源入）	（電源切）
赤色点滅	消灯

■赤外線信号について
●初めて使う場所では、本体が仮想のフェンスを通過しないことを確認してください。
●本体を「手動」で操作した場合、バーチャルガードによる仮想のフェンスを通過することがあります。（リモコンの信号がバーチャルガードの信号よりも優先されるため）
●狭い場所や近い距離でお使いになると、赤外線信号の干渉によって誤作動することがあります。
●バーチャルガードと充電器は離して設置してください。充電できないことがあります。
●複数の本体を同時にお使いになると、赤外線信号の干渉によって誤作動することがあります。
●バーチャルガードをお掃除する床面より高い場所に設置すると通過、誤作動することがあります。

バーチャルガードの使いかた

1 「電源」ボタンを押す

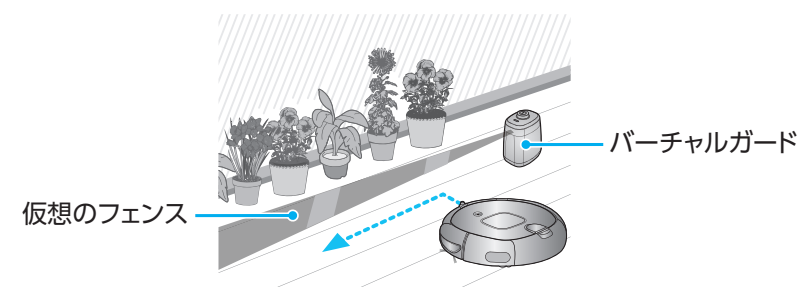
●電源ランプが赤色に点滅します。

定期的にバーチャルガードの電源ランプが点滅するかを確認してください。
乾電池が消耗していると本体が通過することがあります。

2 本体を進入させたくない場所の前にバーチャルガードを置く

●赤外線発信部から伸びるように仮想のフェンスができます。
お掃除する床面に対して傾かないように設置し、バーチャルガードの向きにご注意ください。

3 お掃除を開始する

（→16 ～ 24 ページ）

4 お掃除が終了したら、「電源」ボタンを押して電源を切る

●電源ランプが消灯します。

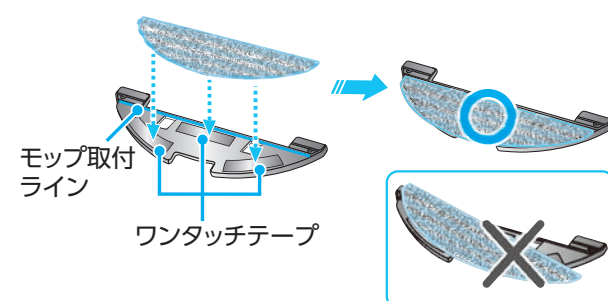
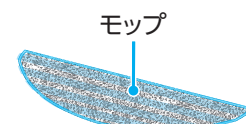
お知らせ
●仮想のフェンスの距離は最長 4m です。距離は環境（照明・日光・障害物など）や本体の動き、乾電池の消耗具合によって変化します。
●バーチャルガードの「電源」ボタンを押しても電源ランプが点滅しない場合は、乾電池を交換してください。（→11 ページ）
●バーチャルガードは追加でお買い求めいただけます。お買い上げの販売店や家電量販店などでお取り寄せください。

お願い
●バーチャルガードを使わないときは、電源を切ってください。（長期間使わないときは、放電を防ぐため乾電池を取り出してください）

モップを使う

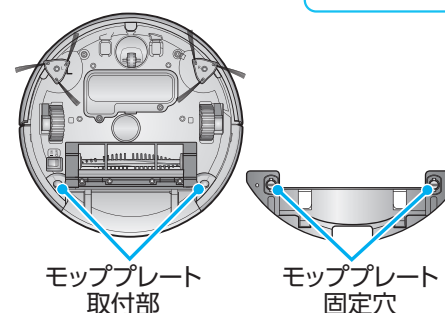
モップを取り付ける

■フローリングなどのホコリをしっかりお掃除できます

※モップを取り付けた本体はじゅうたんの上を移動できません。じゅうたんのお掃除をするときは、モップとモッププレートを取り付けないでください。

1 モップの白い面をモッププレートのワンタッチテープに取り付ける

●モップ取付ラインに合わせて取り付けてください。

2 モッププレート固定穴を本体裏面のモッププレート取付部に合わせ、「カチッ」と音がするまで押し込み取り付ける

●モッププレートは確実に取り付けてください。
（お掃除中にはずれる原因）

お願い

●モップを取り付けても液体のお掃除はできません。床面の液体は必ずふき取ってからお使いください。
●お掃除が終わったら、よごれたモップを洗ってください。（→ 29 ページ）
●ぬれたモップは使えません。洗ったモップは、完全に乾かしてからお使いください。

充電について

■充電器への接続

リモコンか本体の「充電」ボタンを押すと本体が自動で充電器に戻ります

●お掃除中は「スタート / ストップ」ボタンを押して運転を停止してから「充電」ボタンを押してください。
●充電器に戻る途中は、表示部に充電アイコンが点灯します。
●充電器が本体から 3m 以上離れている場合は、充電器に戻れなかったり、戻るまでに時間がかかったりすることがあります。

次の場合は、本体が充電器に戻れません

・部屋の隅や、障害物があるなど、充電器が本体のたどり着けない場所にあるとき。
・充電器の電源プラグがコンセントから抜けているとき。
・本体が充電器から離れた状態でお掃除を開始したとき

※充電器の設置場所を確認してください。**（→ 13 ページ）**

次の場合は、本体を手で充電器に戻してください

・バッテリーが完全に放電しているとき。
・本体が障害物（家具など）にさえぎられているとき。
・本体と充電器の間に越えられない段差や敷居などがあるとき。
・本体が充電器に接触して、充電器の位置が動いてしまったとき。

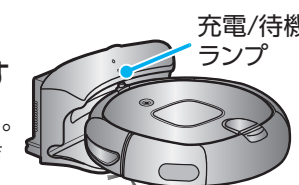
通常は充電器に接続しておいてください

●本体が充電器からはずれていると、バッテリーは自然に放電します。お掃除をしないときは、本体を充電器に設置しておいてください。（長期間使わないときは、節電のため本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして、充電器の電源プラグを抜いて保管してください）

■充電中の表示

充電/待機
ランプ

本体が正常に充電器に接続されていると、充電 / 待機ランプが緑色に点灯します

●充電中は本体のデジタル表示部が左右に点滅し、バッテリーレベルアイコンが点灯します。
●バッテリーレベルアイコンのみ点灯している状態で本体を充電器に接続すると、音声ガイド・アラーム音は鳴りませんが充電はされます。

本体を充電器に接続しても充電されない場合は、次のことを行ってください

・本体が充電器からズレていないか確認してください。
・本体裏面と充電器にある充電端子に異物が付いていないか確認し、充電端子を乾いた布でふいてください。
・本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にしてから、再び「ON」にしてください。
・充電器の電源プラグをコンセントから抜き、再び差し込んでください。

お知らせ

●バッテリーレベルアイコンが点滅しているときは、充電が必要です。この状態から完全に充電するには、約 120 分かかります。完全に充電された状態から、最長約 60 分間お掃除できます。ただし、部屋の形状や家具などの配置、床面の材質、室温などによって異なります。
●次の場合は、充電時間が長くなることがあります。
・室温の高い所での運転直後など、電池が熱くなっているとき。
・10 日間以上充電していないとき。
・充電が切れた状態で、1 日以上充電していないとき。
●充電時間が長くなったり、本体の運転時間が短くなったりした場合は、バッテリーの寿命が近づいています。バッテリーの交換をしてください。（→ 38 ページ）

ゴミを捨てる

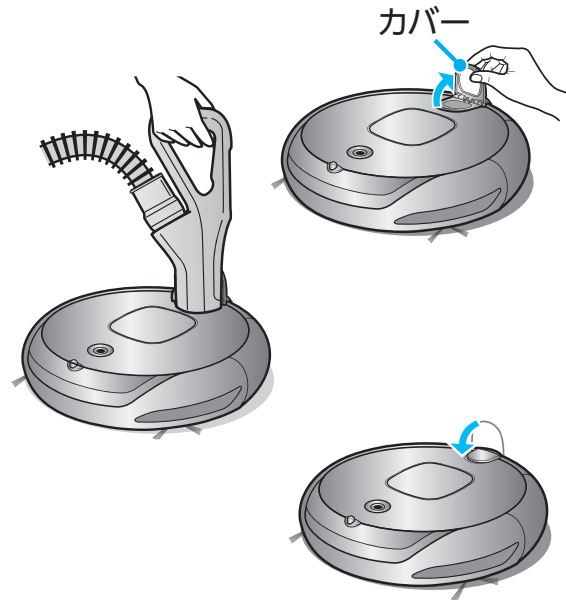
■吸込力を持続させるために、こまめ（週に 1 度を目安）にゴミを捨てましょう！
※ダストボックスからゴミがあふれないように注意してください

掃除機を使ってゴミを捨てる

1「簡単ゴミすて」のカバーを開ける

2 掃除機の吸込口を「簡単ゴミすて」に合わせて、ダストボックスのゴミを吸い取る

●掃除機のスイッチを切ってから吸込口をはずしてください。（ゴミが飛び散る場合があります）

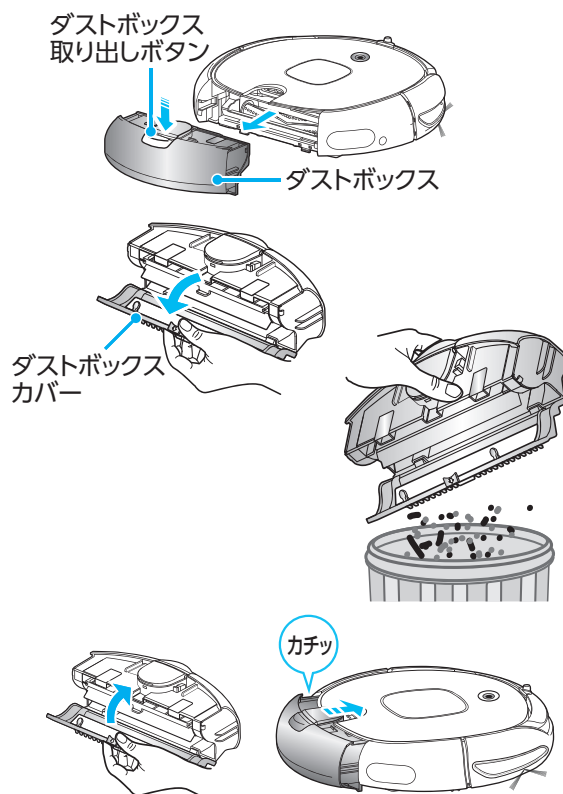
3「簡単ゴミすて」のカバーを閉じる

ダストボックスをはずしてゴミを捨てる

1 ダストボックス取り出しボタンを押しながら、ダストボックスを引き出す

●モッププレートが取り付けてあるときは、はずしてから行ってください。

2 ダストボックスカバーを開ける

3 ダストボックスを逆さにしてゴミを捨てる

4 ダストボックスカバーを閉じ、カチッと音がするまで本体に差し込む

お願い
●ダストボックスカバーを閉じるときは、手をはさまないように注意してください。

お手入れする

⚠警告

水ぬれ禁止

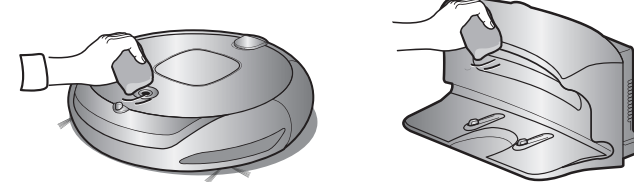
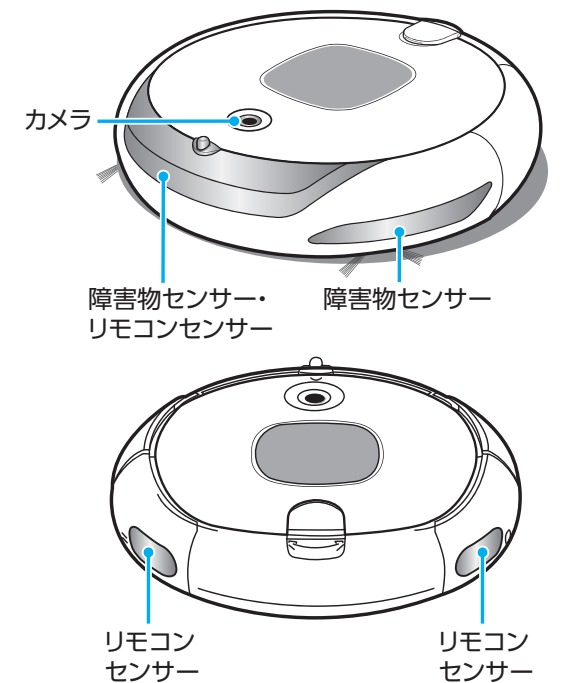
本体（ダストボックス・フィルターを除く）・充電器・リモコン・バーチャルガード・モッププレート・回転ブラシは絶対に水洗いしない
感電・故障の原因。

■性能・品質を保つために、次のことを守ってください

●お手入れに、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤などを使わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。（ヒビ割れ・変色・色落ちの原因）
●毛のかたいブラシでお手入れしないでください。（傷付きの原因）
●暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。（ヒビ割れ・変形の原因）
●**ぬれたままで使わないでください。（故障の原因）　乾燥時間の目安は日陰の風通しのよい場所で約1日（24時間）です。**

お手入れの前には本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体表面・充電器

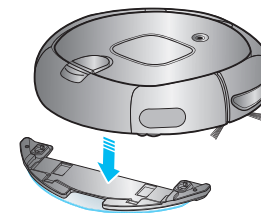
よごれが気になるとき
やわらかい乾いた布で軽くふく

障害物センサー・リモコンセンサー・カメラ

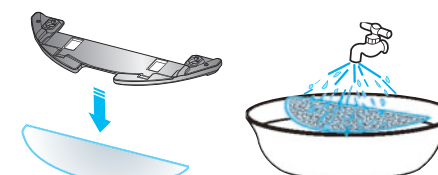
よごれが気になるとき
エラーコード C:06 が表示されたとき
やわらかい乾いた布で軽くふく

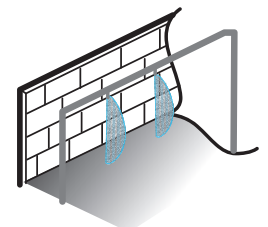
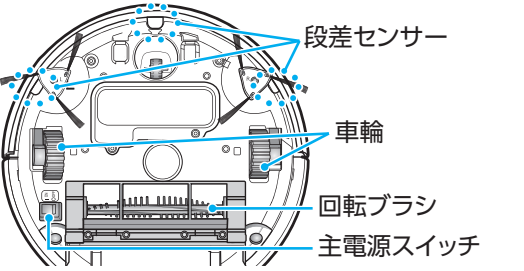
本体表面・側面

モップ

モップがよごれたとき

1 本体からモッププレートを取りはずす

2 モッププレートからモップを取りはずし、水洗いする

※モッププレートは水洗いできません。

3 モップを風通しのよい場所で完全に乾かす

（つづく）

お手入れする　(つづき)

**お手入れの前には本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、
充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。**

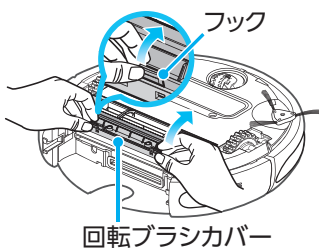
段差センサー

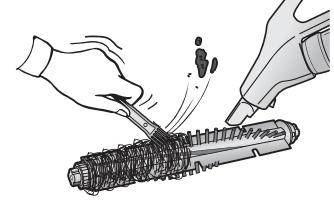
よごれが気になるとき
エラーコード C07 が
表示されたとき

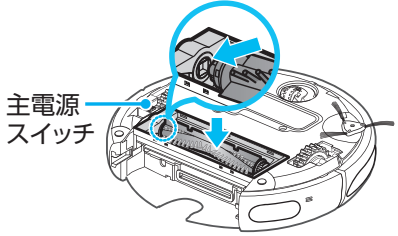
やわらかい乾いた布で軽くふく

本体裏面

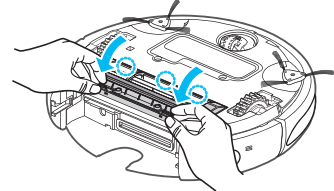
回転ブラシ

ゴミがからみ付いているとき、よごれが気になるとき（お掃除の後に点検してください）
エラーコード C01 が表示されたとき

1 ダストボックス取り出しボタンを押しながら、ダストボックスを引き出す

- ダストボックス内のゴミが出てくる場合があるので、回転ブラシのお手入れ前にダストボックスをはずしてください。
  ※モッププレートが取り付けてあるときは、はずしてから行ってください。

2 異物がないか確認してから、回転ブラシカバーを固定しているフックを押してはずし、回転ブラシを取り出す

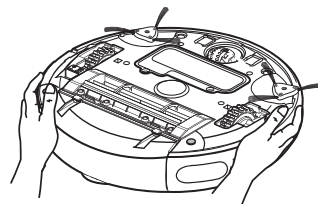
3 回転ブラシにからみついたゴミは、はさみで切り、取り除く

- お手入れブラシや掃除機を使って取り除いてください。

※**回転ブラシは水洗いできません。**

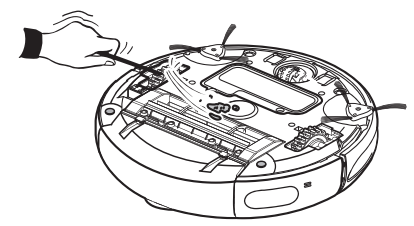
4 回転ブラシを取り付ける

- 先に主電源スイッチ側を取り付けてから、反対側を取り付けてください。
  ※左右逆には取り付けられません。

5 回転ブラシカバーを取り付ける

- カバー上部の 3 個の突起を差し込んでから、フックを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
  ※取り付けるときに無理に力を加えないでください。

お願い

- 回転ブラシ・回転ブラシカバーは確実に取り付けてください。（床面の傷付き・故障の原因）

車 輪

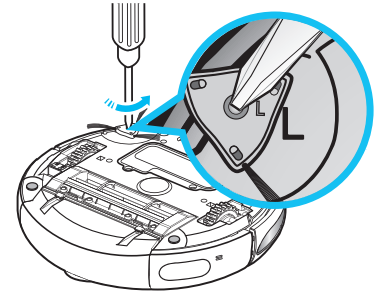
異物がからみ付いたとき
エラーコード C02 C03 が表示されたとき

1 床にやわらかい布を敷き、その上に本体を裏返して静かに置く

2 車輪を回しながら、ゴミをピンセットなどで取り除く

お願い

- 本体が急に直進しなくなった場合は、車輪にゴミがはさまっていることがあります。確認して、お手入れしてください。

サイドブラシ

よごれが気になるときや、異物がからみ付いたとき
エラーコード C09 が表示されたとき

サイドブラシ

1 サイドブラシが曲がったり、異物がからまったりしていないか確認する

- サイドブラシの毛が曲がったり広がったりしたときは、お湯を含ませた布でサイドブラシを 10 秒ほどはさみ込み、引っ張るようにぬぐい取ってください。

お願い

- やけどにご注意ください。

2 髪の毛や糸などが本体とサイドブラシの間にはさまっている場合は、サイドブラシをはずして取り除く

- プラスドライバーでサイドブラシのネジをはずします。
- お手入れ後にサイドブラシを取り付けるときは、L マークのサイドブラシを本体 L 側に、R マークのサイドブラシは本体 L 側の反対側に付けてください。

お願い

- サイドブラシを取り付けるときは、強く締め付けたり、電動ドライバーを使ったりしないでください。（本体内部の故障の原因）
- サイドブラシには髪の毛などのゴミが付きやすいため、こまめに確認、お手入れをしてください。
- サイドブラシにゴミが大量に付くと、ブラシが傷むおそれがあります。
- サイドブラシが破損した場合は、お買い上げの販売店や家電量販店などを通じて新しいサイドブラシをお取り寄せください。（有料）

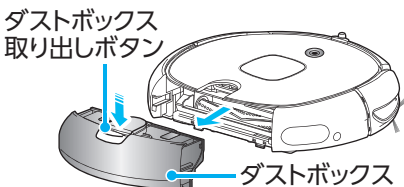
（つづく）

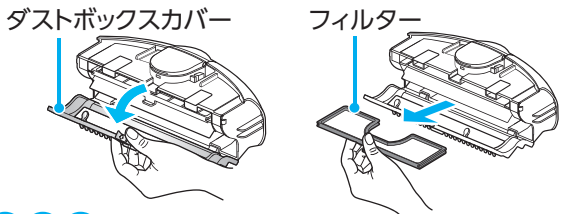
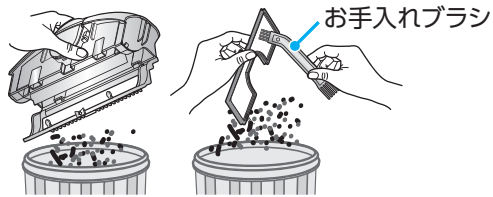
お手入れの前には本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。

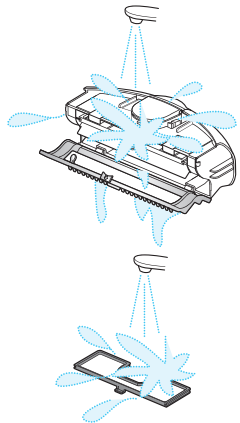
ダストボックス・フィルター

よごれが気になるときや、ゴミの取り残しが多くなったと感じるとき

お手入れの前に、ダストボックスのゴミを捨ててください（→28 ページ）

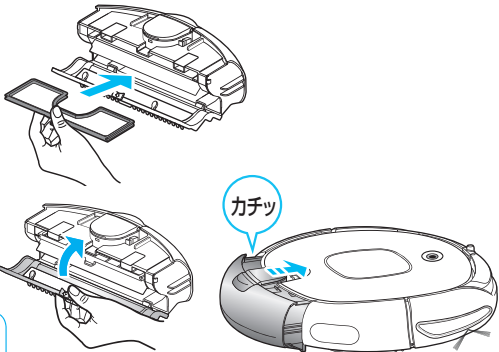
1 ダストボックス取り出しボタンを押しながら、ダストボックスを引き出す

2 ダストボックスカバーを開け、ダストボックスからフィルターをはずす

ダストボックスカバー
フィルター

3 付属のお手入れブラシでダストボックスとフィルターに付いたホコリを取り除く

お願い
- 本体内部には触れないでください。
- お手入れブラシを使ってダストボックス内のお手入れをするときは、ガラスなどの鋭利なゴミによるけがにご注意ください。
- ゴミがこぼれる場合がありますので、新聞紙などの上で行ってください。

※ダストボックス・フィルターは水洗いできます。

お願い
- 各部品は十分に乾燥してから本体にセットしてください。（雑菌が繁殖し、排気のにおいの原因）お手入れをしてもにおいが取れないときは、においの付いている部品の交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- フィルターのお手入れには付属のお手入れブラシ以外のものを使わないでください。また、お手入れブラシを強く押し当てたり、柄のかたい部分で洗ったりしないでください。（破損の原因）
- フィルターが破損したまま使わないでください。（モーターの発煙・発火・故障の原因）

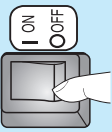
4 フィルターをダストボックスに取り付ける
- フィルターの格子模様を下向きにして取り付けます。※逆向きには取り付けられません。

5 ダストボックスカバーを閉じ、カチッと音がするまで本体に差し込む

お願い
- ダストボックスカバーを閉じるときは、手をはさまないように注意してください。

お困りのときは・よくあるご質問

⚠警告　分解禁止
本体・付属品の改造、および電源コードの交換は絶対にしない
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

- ご使用中に異常が生じたときは、本体裏面の主電源スイッチを「OFF」→「ON」として動作を確認してください。それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べて、直してください	参照ページ
運転しない	本体のパネルの表示部がすべて消灯していませんか。 →電源が切れています。電源を入れ直してください。	15
	ダストボックスが取り付けられていますか。	32
	ダストボックス内のフィルターが取り付けられていますか。	32
	本体裏面の主電源スイッチが「ON」になっていますか。	13
	バッテリーレベルアイコンが点滅していませんか。→充電が必要です。	27
	リモコンの電池が切れていませんか。	10
運転中に止まる	バッテリーレベルアイコンが点滅していませんか。→充電が必要です。	27
	本体がコードなどに引っかかっていませんか。 →本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、引っかかったものをはずしてください。	30,31,14
	本体が段差に突き当たったり、乗り上げて車輪が持ち上げられていたりしていませんか。 →本体を別の場所に移動してください。	15
	薄いタオルなどの布やひもなどが車輪に巻き付いていませんか。 →本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、巻き付いたものを取り除いてください。	31,14
	運転中、一時的に停止することがありますが異常ではありません。再び運転します。	—
運転時間が短い	バッテリーが消耗しています。 →お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにバッテリーの交換をご相談ください。	38
普段よりゴミの取り残しが多い 本体の運転音がうるさい	ダストボックスがゴミでいっぱいになっていませんか。	28
	本体裏面にゴミが張り付いたり、回転ブラシにゴミが詰まったりしていませんか。 →本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にし、ゴミを取り除いてください。	30
	フィルターが目詰まりしていませんか。	32
排気がにおう	湿ったゴミを吸い込んでいませんか。 →ダストボックス・フィルターをお手入れしてください。	—
	フィルターを水洗いした後、十分に乾燥させましたか。	32
	フィルターが目詰まりしたまま使っていませんか。	32

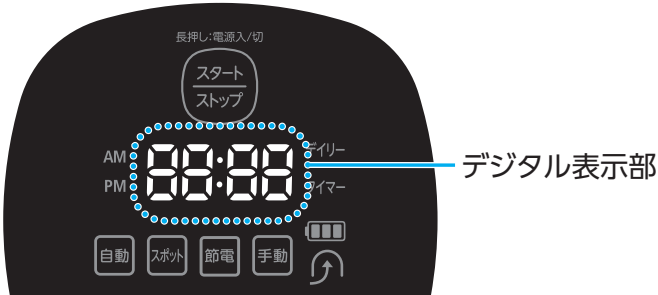
お困りのときは・よくあるご質問　（つづき）

このようなときは	調べて、直してください	参照ページ
速度が変化する	センサーが障害物を感知したり、走行方向の判断をするときに速度を落とすことがあります。（異常ではありません）	—
真っすぐ走行しない	車輪に異物がはさまっていませんか。	31
本体が充電器にぶつかる	本体が充電器に接続されていない状態でお掃除を始めたときや、お掃除中にタイヤのスリップが多いとき、家具が多くお掃除範囲が狭いときは、センサーの特性上、本体が充電器にぶつかる場合があります。（異常ではありません）	—
障害物に衝突する	「かべぎわ」モードになっていませんか。	20
	いすやテーブルなどの脚、薄い色・暗い色の壁・障子・ふすま・キャスターが付いたテレビ台など床から浮いた家具や器具などには衝突することがあります。	—
	障害物センサーがよごれていませんか。	29
回転ブラシが回らない	回転ブラシに糸くずや髪の毛がたくさん巻き付いていませんか。	30
	回転ブラシや回転ブラシカバーは確実に取り付けられていますか。	30
本体や充電器が熱い	制御回路に電流が流れたり、モーターの動作による熱です。（異常ではありません）	—
充電 / 待機ランプが点灯しない	充電器の電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	13
	本体が充電器に確実にセットされていますか。	13
	本体裏面の主電源スイッチが「OFF」になっていませんか。 →本体裏面の主電源スイッチを「ON」にしてください。	13
うまく充電できない	充電器の電源プラグをコンセントに差し直してください。	13
	充電端子に異物が付着していませんか。 →本体と充電器の充電端子を乾いた布でふき取ってください。	9
充電のとき“ジー”という音がする	充電の特性によって、わずかに音が発生します。（異常ではありません）	—
充電時間が長い	充電残量、使用環境などによって、充電時間が長くなることがあります。	27
本体が充電器に戻らない	本体が充電器に接続された状態でお掃除を始めましたか。	26
	充電器の電源プラグがコンセントに正しく接続されていますか。	13
	充電器の前方約 1m、左右約 0.5m に障害物や段差がありませんか。 →障害物を取り除いてください。	13
	バーチャルガードが充電器の近くに置かれていませんか。 →バーチャルガードか充電器を別の場所に移動してください。	25
	充電器の近くに光や赤外線を出したり、強く反射したりするものはありませんか。	—
デジタル表示部に 30,29,28…と数字がカウントダウンする	充電器に接続されている本体を手などで充電器からはずしませんでしたか。 →リモコンを使わずに充電器に接続されている本体をはずすと、カウントダウン終了後に自動で充電器に戻ります。 （カウントダウン中に操作するとカウントダウンは消え、充電器には戻りません）	—
本体の操作ができない	パネルに手が触れないようにして、本体裏面の主電源スイッチを入れ直してください。	13
本体がバーチャルガードを通過する	赤外線発信部の向きが合っていますか。	25
	バーチャルガードの電池が消耗したり、切れていたりしていませんか。	25
バーチャルガードの乾電池の寿命が短い	アルカリ乾電池をお使いください。 使用しないときは、バーチャルガードの電源を切ってください。	25
リモコンの乾電池の寿命が短い	リモコンホルダーに収納するとき、リモコンのボタンが押されていませんか。 リモコンのボタンが押されていないことを確認してください。	—
タイマー予約ができない	本体が充電器に接続されていますか。	23
デイリー予約ができない	本体が充電器に接続されていますか。	24
	タイマー予約が設定されていませんか。	24
時刻の設定ができない	タイマー予約が設定されていませんか。 →タイマー予約を解除してください。	22,23
C 00 エラーコードが表示される	本体が移動中に立ち往生しています。本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして本体を別の場所に移し、再び「ON」にしてお掃除を再開してください。	36

33 ～ 35 ページの処置をしても異常のある場合は、40 ページの保証とアフターサービスをご参照ください。

こんな表示がでたときは

エラーコード一覧

■運転中に不具合が生じるとデジタル表示部にエラーコードが表示され、
音声ガイドでお知らせします
以下の表を確認してください

エラーコード	音声ガイド	原　因	解決方法
C 00	本体をほかの場所に移動させてください。	本体が狭い場所に入り込んだり移動中に立ち往生している。	本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして、本体を別の場所に移動します。
C 01	回転ブラシにからみ付いた異物を取り除いてください。	異物（糸・髪の毛・紙・玩具など）が回転ブラシにからまっている。	本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして、回転ブラシから異物を取り除きます。
C 02	右側の車輪をチェックしてください。	異物（糸・髪の毛・紙・玩具など）が右側の車輪にからまっている。	本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして、右側の車輪から異物を取り除きます。
C 03	左側の車輪をチェックしてください。	異物（糸・髪の毛・紙・玩具など）が左側の車輪にからまっている。	本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして、左側の車輪から異物を取り除きます。
C 05	バンパーセンサーをチェックしてください。	バンパー内側のバンパーセンサーが誤作動している。	バンパーを外側に向けて少し引っ張ります。※無理に引っ張らないでください。
C 06	側面のセンサー部をやわらかい布でふいてください。	側面のセンサー部（障害物センサー）によごれが付いている。	本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして、前方と左右の障害物センサーをやわらかい乾いた布でふき取ります。
C 07	裏面のセンサー部をやわらかい布でふいてください。	裏面のセンサー部（段差センサー）によごれが付いている。※本体が立ち往生したときにも表示されることがあります。	本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして、裏面の段差センサーをやわらかい乾いた布でふき取ります。
C 08	ダストボックスとフィルターをチェックしてください。	ダストボックスが挿入されていない、またはフィルターが取り付けられていない。	ダストボックスにフィルターが取り付けられているか確認し、本体に「カチッ」と音がするまでダストボックスを差し込みます。
C 09	サイドブラシをチェックして、からみ付いた異物を取り除いてください。	異物（糸・髪の毛・布・電源コードなど）がサイドブラシにからまっている。	本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にして、サイドブラシから異物を取り除きます。

「スタート / ストップ」ボタンを押すか、本体裏面の主電源スイッチを「OFF」にすると、エラーコードが解除されます。引き続きお掃除を行う場合は、本体裏面の主電源スイッチを「ON」にし、「スタート / ストップ」ボタンを長押しして電源を入れてください。

仕　様

項目		仕様
電源（充電器）		交流 100V　50/60Hz 共用
消費電力（充電器）		40W（本体充電時）
本体電源方式		充電式（バッテリー：ニッケル水素バッテリー 14.4V 2,000mAh セル数:12）
外形寸法	本体	幅 355mm × 高さ 93mm × 長さ 355mm
	充電器	幅 275mm × 高さ 122mm × 奥行 155mm
質量	本体	3.7kg
	充電器	1.0kg
集じん容積		0.6L
充電方式		自動充電 / 手動充電
充電時間		約 120 分
お掃除モード		自動・スポット・節電・手動（付加機能：ターボ・かべぎわ）
最長運転時間		約 60 分（床面の材質・使用環境により異なります）
電源コードの長さ（充電器）		1.5m
本体のボタン形式		タッチタイプ

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

■抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	試験結果	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
回転ブラシ	（財）日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	99%以上	繊維に付着	回転ブラシのブラシ毛

交換が必要な消耗品

次の部品は消耗品です。破損・摩耗したときは新しい部品に交換してください。（有料）

●新しい部品をお買い求めのときは、お買い上げの販売店や家電量販店にご相談ください。

部品名	交換時期の目安
バッテリー（RB1-P）	運転時間が著しく短くなったとき（バッテリーの交換は、約 1 年半※ごとが目安です）
回転ブラシ	破損・摩耗したとき
回転ブラシカバー	破損・摩耗したときや、起毛布のつぶれが著しいとき
サイドブラシ	破損・摩耗したとき
フィルター	お手入れをしてもゴミの取り残しが多くなったときや、においがするとき
モップ	破損・摩耗したとき
乾電池	リモコンやバーチャルガードが正しく作動しないとき

※「自動」モードで毎日 60 分間運転した場合。

バッテリーの交換を依頼する

⚠警告 分解禁止
本体・付属品の改造、および電源コード・バッテリーの交換は絶対にしない
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

バッテリーの交換

バッテリー (RB1-P) は消耗品です。次のような状態になったときは、バッテリーの交換を依頼してください。

- 本体の運転時間が著しく短くなった
- 充電時間が長くなった

バッテリーの交換は、お買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

東芝生活家電ご相談センター
フリーダイヤル **0120-1048-76**
受付時間：365日 9:00~20:00
携帯電話･PHSなど 022-774-5402（通話料：有料）
FAX 022-224-6801（通信料：有料）

お知らせ
- **バッテリーの交換は、約 1 年半ごとが目安です。**（「自動」モードで毎日 60 分間運転した場合）
- バッテリーの寿命は周囲の温度、使用頻度など、お使いの環境・条件などによって異なります。

お願い
- バッテリーは温度 0℃～ 40℃の範囲で使用・保管してください。
- 製品を廃棄する場合は、バッテリーを本体からはずしてください。

バッテリーを処分する

⚠危険 分解禁止
バッテリーを分解・改造しない
・バッテリーの液漏れ・発熱・破裂・発火の原因。
バッテリーには危険防止のための安全機構が組み込まれています。これらを損なうと、過電流で充電されたり、充電制御ができなかったり、過電流で放電します。

バッテリーのはずしかた（製品廃棄時など）

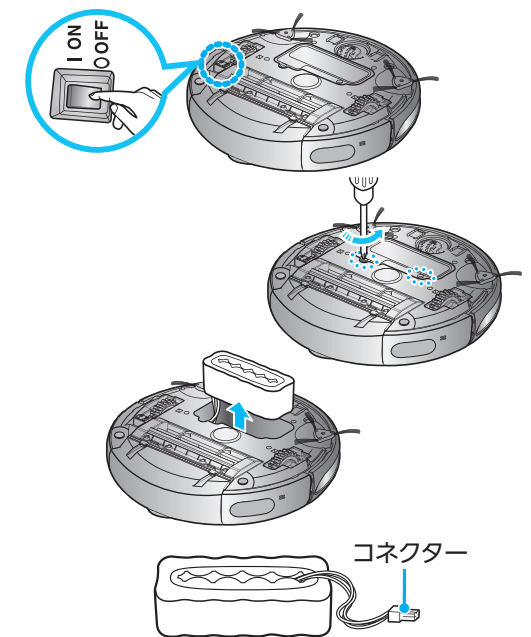
クリーナーを廃棄するときは、以下の手順でバッテリーをはずし、バッテリーを充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。※バッテリーは完全に使い切ってからはずしてください。

〈バッテリーを使い切っているかを確認する〉
本体裏面の主電源スイッチを「OFF」→「ON」としたときに、表示部に何も表示されなければ、使い切っています。

1 本体を裏返し、主電源スイッチを「OFF」にする

2 ドライバーを使い、バッテリーカバーのネジ（2 カ所）をはずす

3 バッテリーを取り出す

4 バッテリーと本体をつないでいるコネクターをはずし、コネクターをテープなどで絶縁する

お願い
- 取りはずしたバッテリーは、再度本体に接続しないでください。（バッテリーの液漏れ・発熱・破裂・発火の原因）

●バッテリーのリサイクル

不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のために必ず金属端子部にテープ等を貼って絶縁してください。
以下のホームページから全国各地のリサイクル協力店が簡単に検索できます。
一般社団法人 JBRC ホームページ　http://www.jbrc.com

Ni-MH

■製品廃棄について

バッテリーを取りはずした本体・充電器・リモコン・バーチャルガードなどは、各自治体の指示に従って処分してください。